

市民の皆さんに 選ばれる病院となるために

人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルス感染症への対応など大きく変化する医療を取り巻く環境。医療従事者の確保など課題を抱える中、市立病院は、地域医療を担う基幹病院として、今後も良質な医療の継続と経営の健全化に努め、市民の皆さんに安心して受診していただける病院を目指します。

安来市立病院 ☎ 3 2 - 2 1 2 1

市立病院では平成29年度から「安来市立病院新改革プラン」に基づき病院経営の健全化に向けた取り組みを進めてきました。

令和2年度は、計画期間の最終年度。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対策が求められる中で、継続して収益向上と経費削減に向けた取り組みを行いましたが、患者数の減少等により医業

収益は前年度を下回り、指標の多くが目標に達しないという結果となりました。

この度、令和2年度の救急医療等の医療機能に関する取り組みや経営の効率化に向けた取り組み状況の実績について、外部委員会の評価を受けましたので、その結果をお知らせします。詳細は、市立病院ホームページをご覧ください。

主な指標の状況

指標	令和元年度	令和2年度		目標値との比較
	実績	目標	実績	
経常収支比率 (%)	95.4	102.7	99.5	▲ 3.2
医業収支比率 (%)	82.7	89.0	80.9	▲ 8.1
給与費対医業収益比率 (%)	83.1	74.6	84.0	9.4
延べ外来患者数 (人)	58,000	62,460	50,802	▲ 11,658
延べ入院患者数 (人)	46,130	47,579	40,234	▲ 7,345

延べ入院患者数の内訳

●一般病棟 (令和元年度54床→令和2年度44床)

延べ入院患者数 (人)	16,210	18,725	12,516	▲ 6,209
病床利用率 (%)	82.0	95.0	77.9	▲ 17.1

●地域包括ケア病棟 (令和元年度48床→令和2年度40床)

延べ入院患者数 (人)	14,496	14,582	12,686	▲ 1,896
病床利用率 (%)	82.5	85.0	86.9	1.9

●療養病棟 (46床 変更なし)

延べ入院患者数 (人)	15,424	14,272	15,032	760
病床利用率 (%)	91.6	85.0	89.5	4.5

【指標の説明】

- ・経常収支比率：経常費用に対する経常収益の割合。
- ・医業収支比率：医業費用（給与や諸経費など）に対する医業収益（入院・外来収益など）の割合。
- ・給与費対医業収益比率：医業収益に対する給与費の割合。
- ・病床利用率：病床数に対するの入院患者の割合。



市立病院
ホームページ